

第1回「歩くまち・京都」市民アンケート 結果速報(概要版)

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの概要

調査目的

- クルマ中心のライフスタイルから、徒歩や自転車、公共交通が優先されるライフスタイルへの転換に向けた施策立案の基礎資料として活用
- モビリティ・マネジメントの手法を盛り込み、ライフスタイルの転換に向けたきっかけ作りとしても実施

主な調査項目

- 京都のまちなみと移動方法について
- 地球温暖化対策とクルマ利用について
- 健康とクルマ利用について など

資料6参照

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの概要

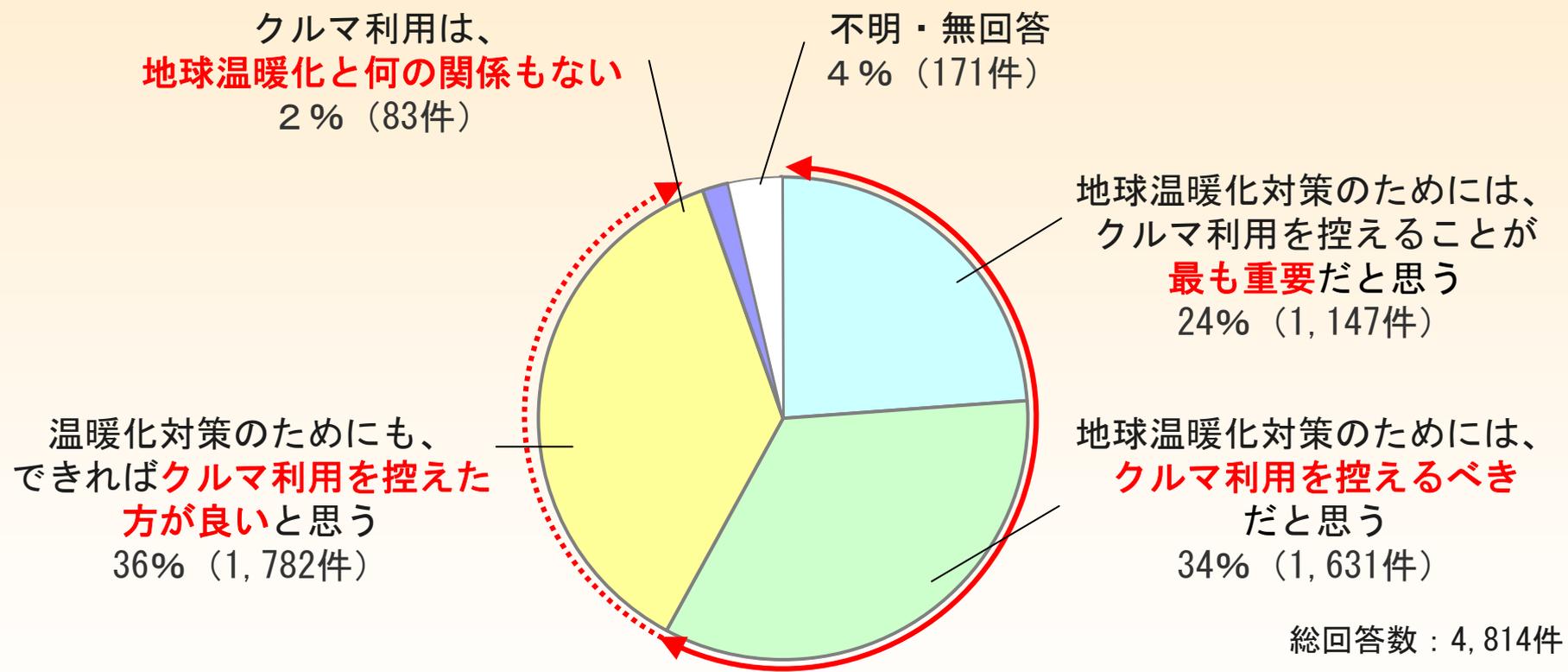
実施概要

- 調査対象：18歳以上の市民14,700人
(住民基本台帳及び外国人登録データから無作為抽出)
- 調査方法：回答用紙への記入方式（郵送）
- 調査期間：平成20年11月13日（木）
～平成20年11月30日（日）
- 回収状況：回収数 5,005件（回収率34.0%）
- 第2回アンケート協力者数：2,490名 協力率：51.7%
(平成20年11月30日までの回収分のうち)

※集計結果は、平成20年11月30日までの回収分による

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

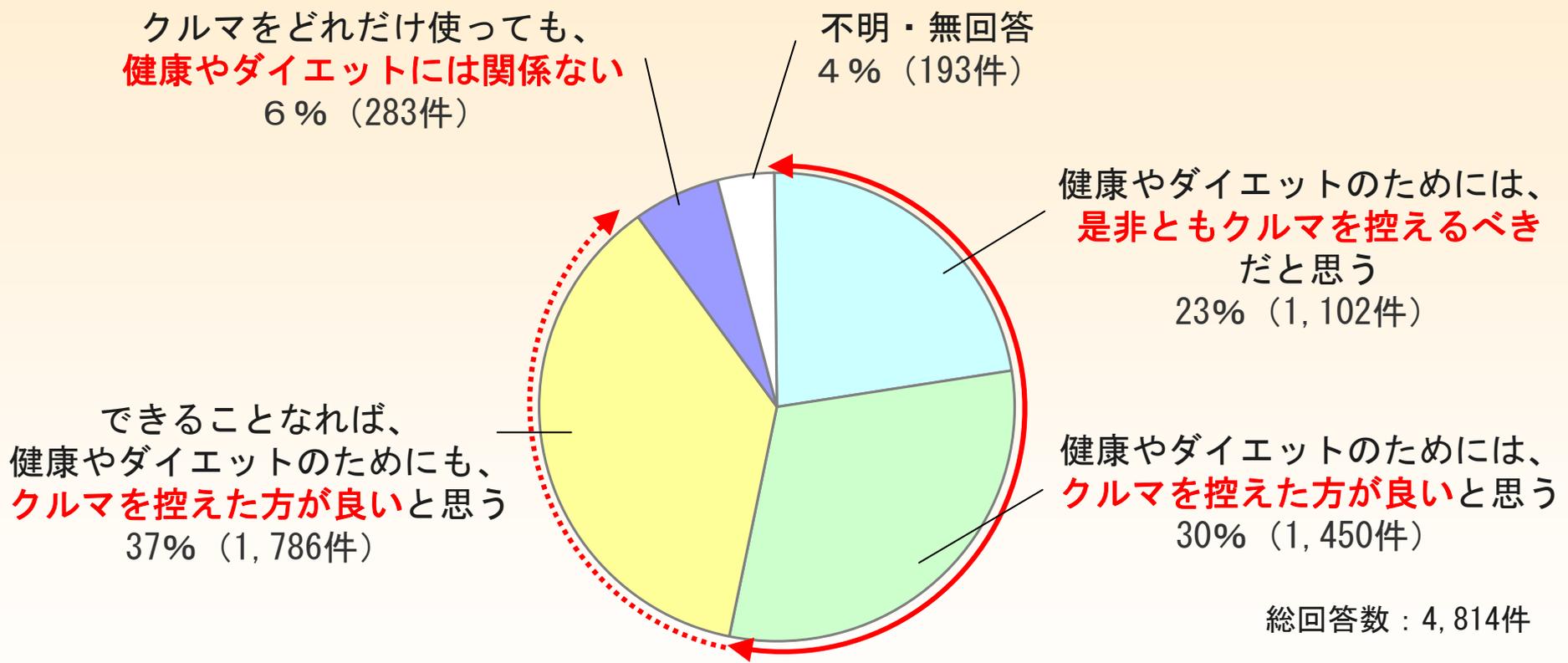
「環境」のためにクルマ利用を控えることが効果的か？



58～94%の市民が温暖化対策のためには、クルマ利用を控えることが効果的と回答

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

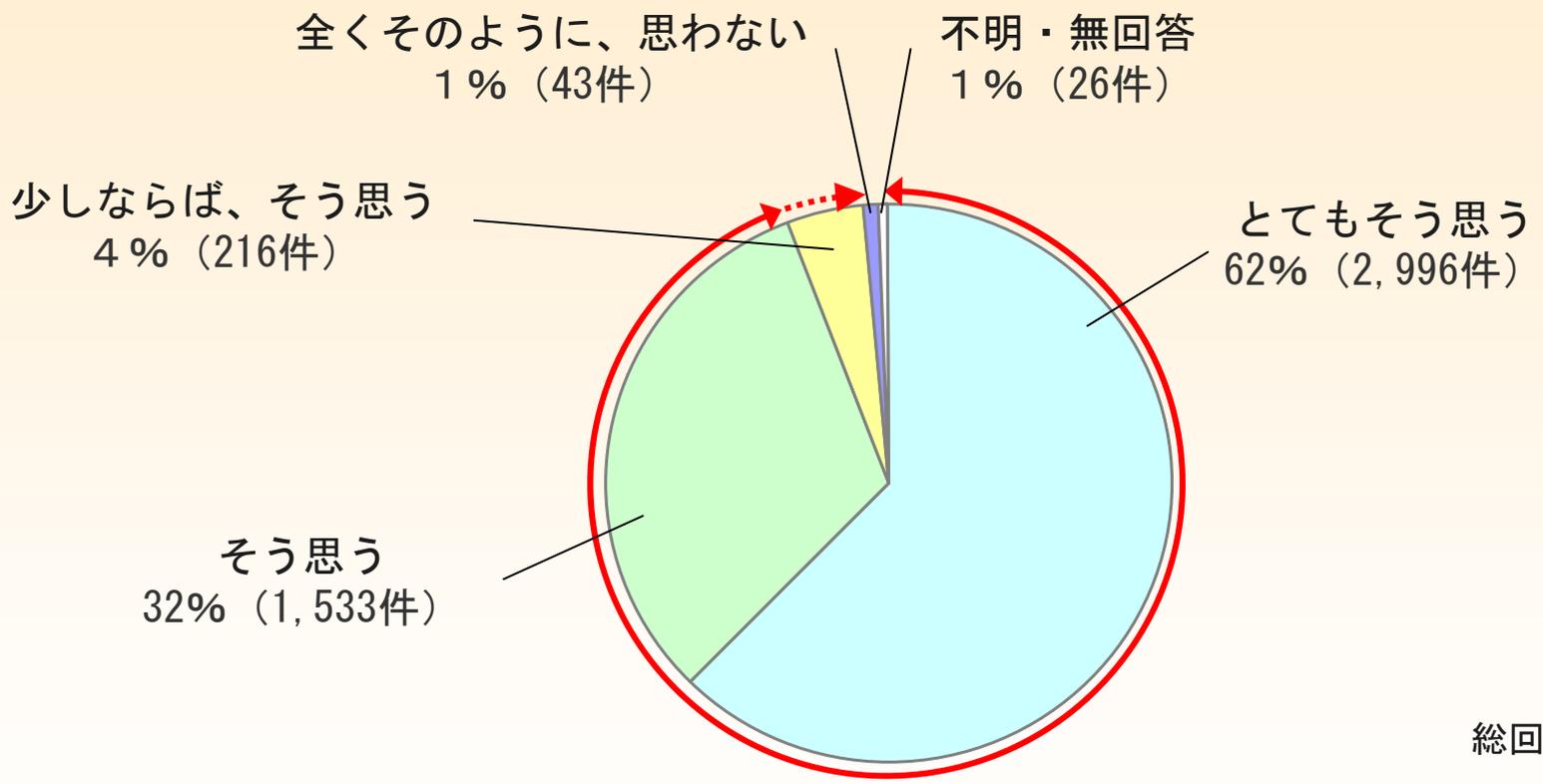
「健康・ダイエット」のためにクルマ利用を控えるべきか？



53～90%の市民が健康やダイエットのために、クルマ利用を控えた方が良く回答

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

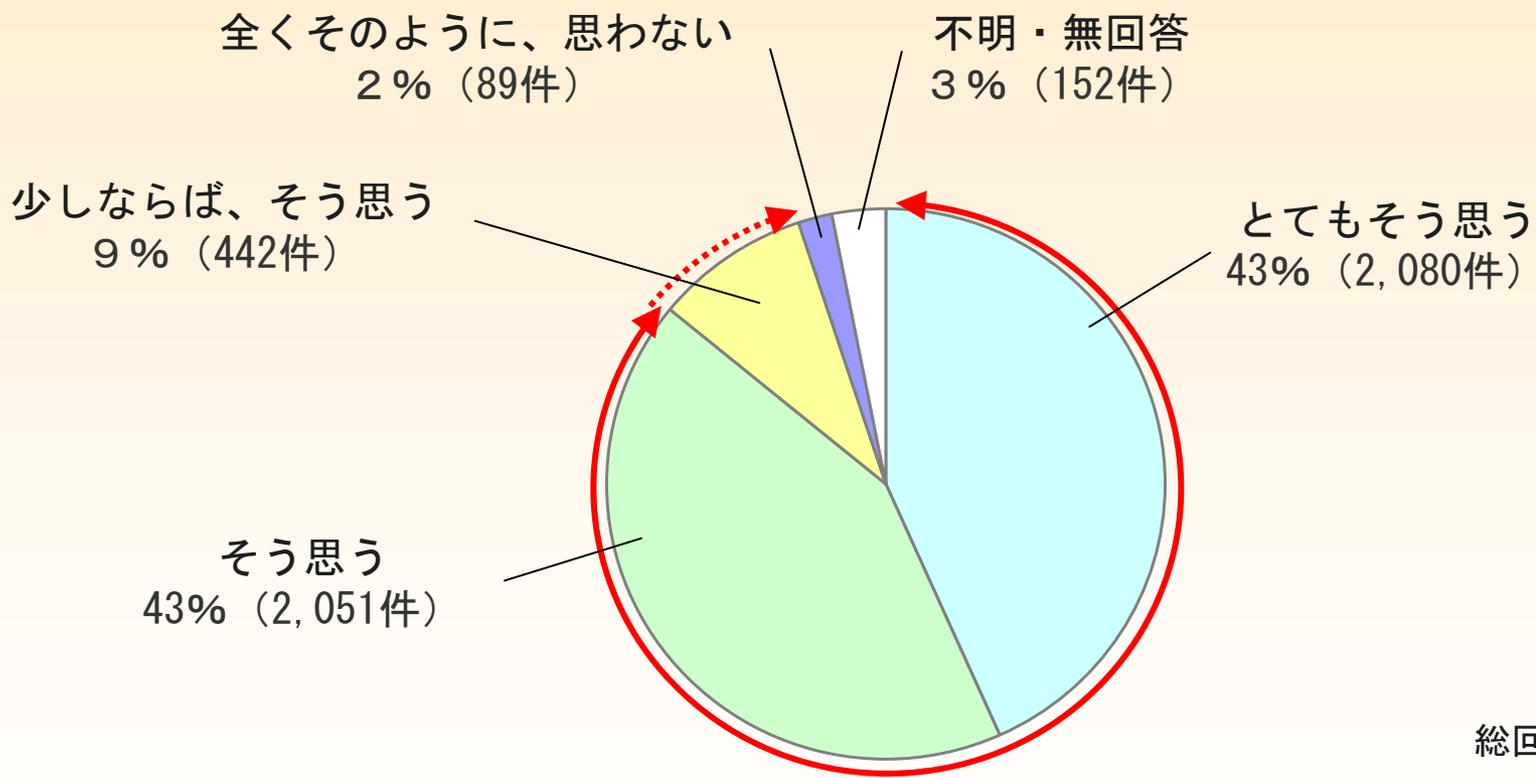
「歴史と伝統のある、まち」を維持していくべきか？



94～98%の市民が京都市は、「歴史と伝統のある、まち」を維持していくべきと回答

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

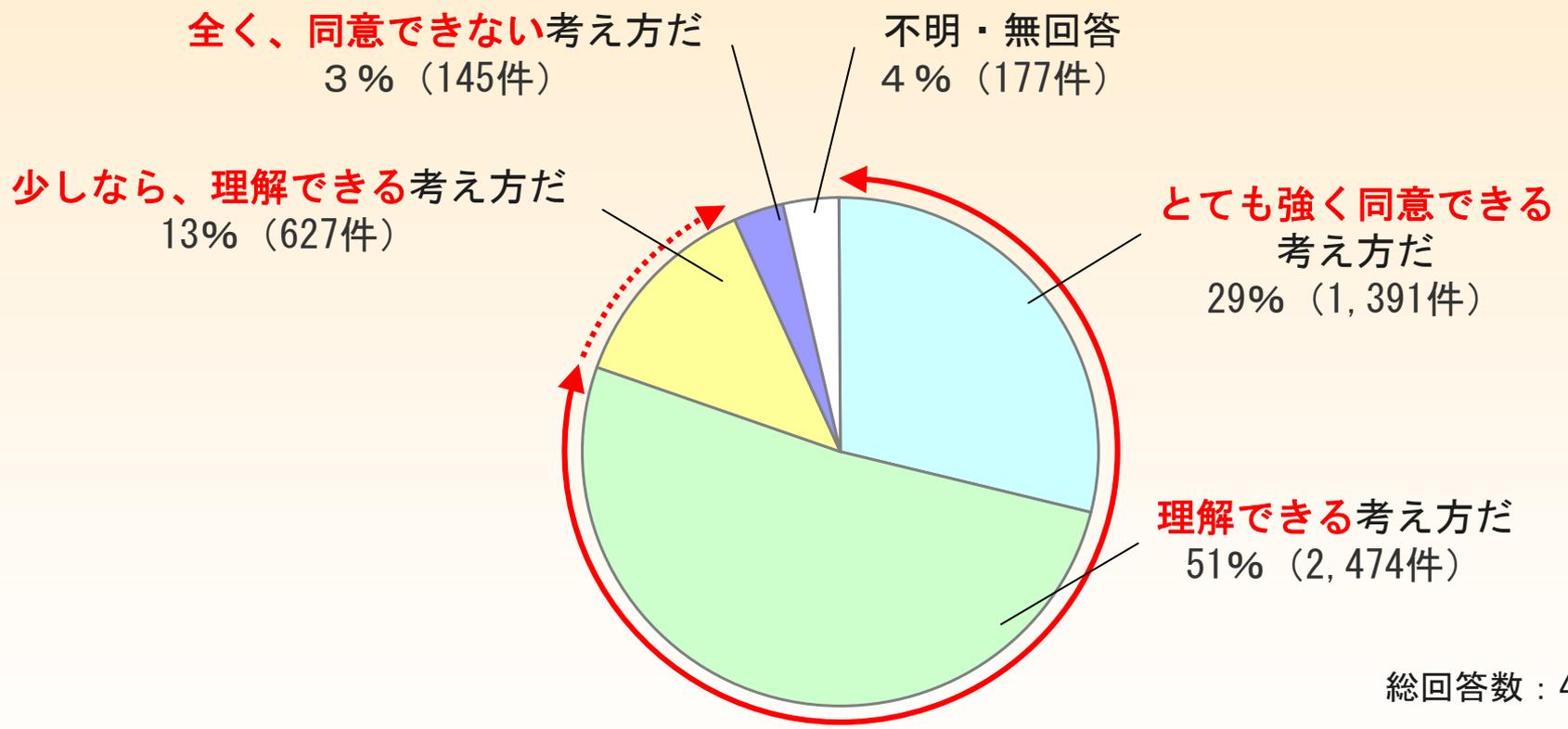
伝統的な風景には「クルマ利用」よりも「歩く人々」の方が馴染むか？



86%～95%の市民が京都の伝統的な風景には、「走るクルマ」よりも、「歩く人々」の方が馴染むと回答

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

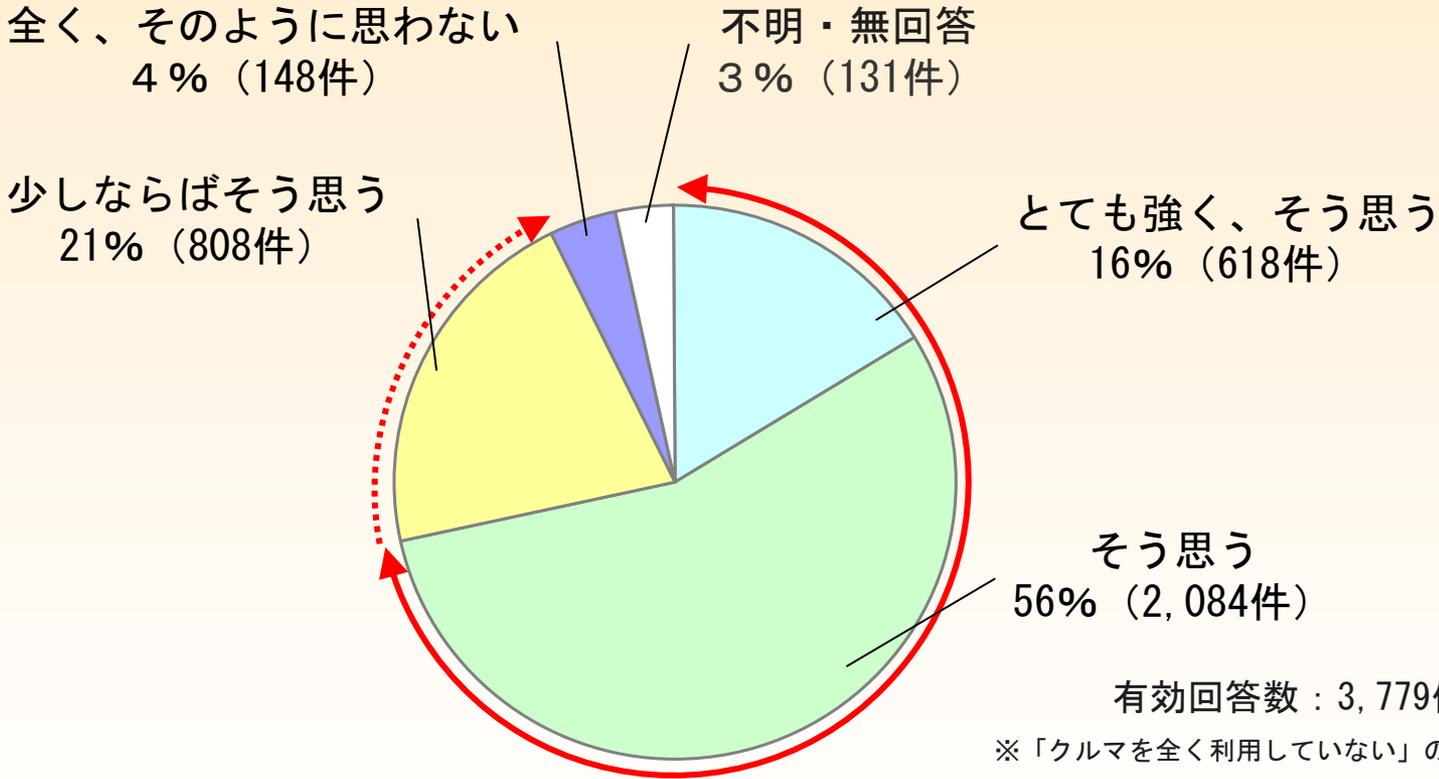
公共交通・徒歩・自転車を大切にしたまちづくりは大切か？



80%~93%の市民が「クルマ中心のまちづくり」よりは、「公共交通や徒歩・自転車を大切にしたまちづくり」を進めることが大切と回答

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

自身の「クルマ利用」をできるだけ控えた方が良いと思うか？



クルマ利用者の72~93%が自分自身の「クルマ利用」をできるだけ控えた方が良いと回答

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

アンケート結果を解釈すると…

京都市民は、

「**京都の歴史と伝統を守るべき!**」

と非常に強く考えており (94~98%)、そして、

「京都の歴史と伝統のためには (そして健康や環境のためにも) 、

(便利な) **クルマをあきらめていかなければならない**」

と考えているようである。だからこそ、大多数の市民 (80~93%) が

「**クルマ中心でない** (徒歩を中心とした) **まちづくりが必要**」

と考えており、そして、同じく大多数の市民 (72~93%) が

「**自分自身でも、クルマを控えていこう**」

と積極的に考えている様子が分かる。

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

「クルマ利用を減らす」ために、どんなことができると思うか？

—問11自由記述より抜粋—

<日頃から>

- 出来るだけ**歩く習慣**を身につける。
- 時間に余裕を持って**公共交通機関**を利用しようと思う。
- クルマを利用しようと思った時に、「自転車か徒歩でも行ける場所か」「もって帰れる荷物の量か」など、**考え直してみよう**と思う。
- **歩いてレクリエーション**を楽しんだり、遠くに出かけず、近くの公園で遊んだりする。
- 子供の送迎にクルマを利用する事が多いので、**一人で公共交通**を利用するよう、**子供に話してみたい**と思う。

<買い物で>

- 休日に主人に送ってもらって買い物に行く事があるが、なるべく**自転車か徒歩**で、**二人で買い物**に出かける事にする。
- 買い物に近くてもクルマを利用する事がよくあるが、**これからは自転車**を使うようにしようと思う。

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

<公共交通や徒歩・自転車の楽しみ>

- 休日は、ハイキング気分でのんびり散策をしたいと思う。
- 週末にクルマで出かけることが多いが、バスを利用したいと思う。
- 遠出をする時は、バス・地下鉄を大いに利用しようと思う。
- 週末に子供を連れて出かけるのに、クルマで行くのが当たり前になっていたが、特に荷物が多くない時は、電車を利用する。
- 晴れの日には、自転車や徒歩・バス・地下鉄など、京都のまちを歩く。意外と知らない場所が多く、見つけることが出来る。エコにも繋がり、健康の為にいい。
- 免許もクルマも持っていない。必要な時は、バス・電車・タクシーを利用している。歩くと季節を感じる事が出来て、気持ちが良い。
- 京都が大好きで、よく旅行に来ていたが、念願だった京都に住むことが出来、クルマを売却し、自転車を買ったり、特にバス・電車を利用して夫婦で日々楽しんでいる。
- 歩く事は健康にもよく、自然の景色も見れる。

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

<歩行者優先の環境整備>

- クルマを減らすには、**歩行者・自転車の動きやすい道づくり**を先行してほしい。
- 歩くまち・京都のためには、**安心・安全に歩けるまち**にしてほしい。
- バス停にさえ椅子がない。歩いて移動できるよう、**椅子の設置が急務**だと思う。
- 市街地に**共同ベンチ**を設置してほしい。

<公共交通利用のための環境整備>

- **電車とバスの乗り継ぎ**がしっかり出来ていれば、クルマより公共交通を利用し、住みよいまち・京都になると思う。
- **公共交通機関を充実させ、車で出かけるよりも便利で安い**という印象を与える事が大切だと思う。

<自転車利用のための環境整備>

- **自転車道を充実**させて、楽しく安心して走れるようにしてほしい。
- **駐輪場が少なく**、自転車の置き場に困る事がよくあり、対策が必要だと思う。
- パリのように、まちのいたるところに**無人のレンタサイクルステーション**を設置すれば、利用者はかなり増えると思う。

第1回「歩くまち・京都」市民アンケートの結果

<観光客へのアプローチ>

- 目的地までの道中を歩いて楽しんでもらえたらいいと思う。
- 観光シーズンには、クルマを市内に入れない。公共交通機関を利用させるなど、行政の強い姿勢が求められる。
- 観光地へのアクセス改善（シャトルバスの充実）や、マイカー規制など、欧州の歴史都市では当たり前になっている事を、京都にも導入すべき。
- 地下鉄や路面電車のルートを増やして、回りやすくするなどすべきだと思う。
- パークアンドライドの推進。

<抑制・啓発活動>

- 市内の主要地域に歩行者天国のような区域を多く作る。
- 市内流入車両規制。
- 大企業や大学などは、マイカー通勤を禁止し、通学通勤バスなどを運行する事を制度化する。
- 月1回ノーカーデーをしてみてもどうかと思う。
- 「おいしい、きれいな空気を吸いましょう！」というキャンペーン展開などをしてみてはどうか。
- 電気自動車のカーシェアリングを世界に先駆けて、京都がすべきだと思う。

アンケート結果から示された市民の思い

- 京都の「賑わい」と「歴史・伝統」を継承するために、

何よりも**歩行者**を優先し

公共交通や**自転車**も活用し

クルマ利用を控える

まちづくりを目指すべき

